

# 執行部へ質問！その答えは！？

## 私たちの税金 どう使われる？



### 総務文教分科会

宮下委員 古居委員 浜西委員 上松副委員長 岡野委員長 山本委員 酒永委員 平本委員

総務部、企画部、危機管理監、会計課、教育委員会、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会および消防の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない予算



### 産業厚生分科会

寛本委員 美濃委員 沖元委員 平川副委員長 沖委員長 吉野委員 長坂委員 上本委員

市民生活部、福祉保健部、福祉事務所、産業部、土木建築部、企業局および農業委員会の所管に関する予算

### ふるさと納税について

**Q** ふるさと納税事業については、さまざまな経費がかかることが想定されるが、業務委託内容や実際にかかる経費、そして実際に江田島市の収入として残る納税収入額はどのようになっているか。

**A** 業務委託内容としては、ふるさと納税の受け付けや返礼品の調達や手配、各事業者への支払いとなっております。令和4年度ふるさと納税として3280万円を予算として計上しており、委託にかかる経費やホームページ掲載、決済手数料合わせて約1600万円かかることから、収入としては約1600万円と見込んでいます。

### 水道企業団への参画について

**Q** 本市の水道事業経営は、人口減少による水道料金収入の減少や、老朽化した施設の更新費の増加のため、今後より一層厳しくなると予想される。そのため、本市は広島県の水道広域連携「広島県水道企業団」への参画を決め、現在準備を進めているが、市民の支払う水道料金への影響は。

**A** 将来水道料金の値上げは否めませんが、本市単独での運営より企業団での運営のほうが、スケールメリットも発揮され、料金の上昇率が緩やかになるというメリットがあると考えます。

**Q** 将来的に水道管等の設備の更新など問題はなにか。

**A** 広域連携への参画で国の補助が優遇されることや、地域間の技術的なサポートが可能となるため、設備更新はより早くなると考えます。

### 災害復旧事業について

**Q** 災害復旧事業は、令和3年度完了予定であったが、令和4年度に繰り越されている。平成30年7月豪雨災害の復旧事業が完了していない箇所においては、今後も起こりうる異常気象等による二次災害も懸念される。市民の安心・安全のため早期復旧が望まれるが、復旧の遅れの原因は。

**A** 未曾有の災害で復旧に時間がかかっています。出水期までに手当てができるところはしっかり手当てをし、できないところは必要に応じて土のうやブルーシートの設置など、しっかりと対応します。市民の安心・安全のため、一日でも早く復旧が完了するように努めていきます。

### 旧ユウホウ紡績工場跡地について

**Q** 現在企業側からのオフアールについてや、区画を切ったの切り売りは考えているのか。また、跡地に残っているダイオキシン汚染の範囲や土地整理費用はいくらほどかかるのか。

**A** これまでに企業側からのオフアールは1、2社ありましたが、現在はストップしています。また切り売りについては、基本的には考えていません。まずは広く民間企業に公募できるよう、土地の状況を整理するために土地整理事業として予算化しました。また、ダイオキシン汚染の範囲としては敷地内の107㎡となっております。土地整理費用としては約2000万円が想定されます。